

Kansai University Psychological Research

Kazuaki SHIMIZU (<i>Faculty of Sociology, Kansai University</i>) Configuration of Measurement Variables in the Common Factor Space	1
Hiroshi SATO (<i>Faculty of Sociology, Kansai University</i>) Yusuke WATANABE (<i>Faculty of Sociology, Kansai University</i>) Miyuki SATO (<i>Faculty of Education, Kyoto University of Education</i>) Quality of Web-Based Information on Treatment of Eating Disorders in Japan.....	11
Toshihiko AMEMIYA (<i>Faculty of Sociology, Kansai University</i>) Reversal Theory and the Bodily Basis of Laughter and Humor: A View from Interactional Model of Emotions	17
Sayuri HONMOTO (<i>Graduate School of Psychology, Kansai University</i>) Yumi YAMAMOTO (<i>Graduate School of Psychology, Kansai University</i>) Genji SUGAMURA (<i>Faculty of Letters, Kansai University</i>) A Theoretical Review of Embodied Cognition Research involving Skin Sensations	29
Yumi YAMAMOTO (<i>Graduate School of Psychology, Kansai University</i>) Kumiko KATO (<i>Graduate School of Psychology, Kansai University</i>) Genji SUGAMURA (<i>Faculty of Letters, Kansai University</i>) Conceptualizing the Japanese Prosocial Behavior from the Viewpoint of the “Seven Practices of Giving” in Buddhism	39
Tetsuya YAMAMOTO (<i>Institute of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan/ Japan Society for the Promotion of Science</i>) Hiroshi SATO (<i>Faculty of Sociology, Kansai University</i>) Masashi KUSHIZAKI (<i>Faculty of Letters, Kansai University</i>) An Interdisciplinary Approach to Psychology	51

Graduate School of Psychology, Kansai University

関西大学心理学研究

第5号 2014年3月

清水和秋 共通因子空間における観測変数の布置.....	1
佐藤 寛・渡邊裕亮・佐藤美幸 日本語ウェブサイト上の摂食障害の治療法に関する医療情報の質の検証.....	11
雨宮俊彦 リバーサル理論と笑いとユーモアの身体的基盤について — 感情の相互作用モデルからの展望 —	17
本元小百合・山本佑実・菅村玄二 皮膚感覚の身体化認知の展望とその課題.....	29
山本佑実・加藤久美子・菅村玄二 「無財の七施」にみる日本的な向社会的行動	39
山本哲也・佐藤 寛・串崎真志 心理学に活かす生物学的アプローチの基礎と応用.....	51

関西大学大学院 心理学研究科

編集委員会

池内裕美* 雨宮俊彦 比留間太白 (*編集委員長)

編集規程

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文の掲載にあてる。ただし、第一著者となれるのは、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員、大学院生、および研究生に限る。
4. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
5. 論文は、編集委員によって審査され、その掲載の可否が決定される。
6. 論文の原稿の長さは、表題、要約、図表・注・文献を含め、原則として、日本語論文は刷り上がり10ページ以内、英語論文は6500語以内とする。
7. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき2005年改訂版」に準拠したものとする。
8. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
9. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。